

ニューズレター雪氷北信越

No. 25 平成4年5月15日

日本雪氷学会北信越支部発行

目次

第5回総会、研究発表会・製品発表検討会案内／理事幹事会・顧問評議員会／
学習会報告／学習会案内／プログラム／見学会案内／国際シンポジウム

第5回総会および

研究発表会・製品発表検討会

5月30日（土）開催

※プログラムは2～3頁です。奮ってご参加下さい。
なお、同封の出欠票および委任状を5月25日までに
ご投函下さい。

報告

理事・幹事会／顧問・評議員会 報告

4月21日（火）、長岡市『けさじろ荘』にて平成3年度第4回理事会・幹事会が開催されました。平成3年度の事業報告・会計報告のあと、平成4年度の事業計画・予算案が審議され、講演会、学習会、見学会、講習会等の活動については、前年度と同様の開催回数とすることが承認された。また今年度は9月に「雪崩を知る・予知する・予防する長岡国際シンポジウム」を主催することが確認されその準備状況が報告されました。予算案については平成3年度の実績で行うこととしました。第5回総会の予定が報告され、つぎに日本雪氷学会北信越支部表彰規定案が提出され承認されました。最後に平成4年度役員の変更が承認されました。

引続き、同会場にて平成3年度顧問・評議員会が開催され、支部長・幹事長から平成4年度支部事業、平成4年度事業計画、国際雪崩シンポジウム、IGSシンポジウム等の予定が報告されました。

その後、お集まり戴いた13名の顧問・評議員の方々と理事・幹事との懇親会が大沼顧問の音頭で開催され、和やかなうちにも貴重な御質問や御意見を戴きました。

新潟地区では、上越市の北陸農業試験場で3月11日の16時から17時30分にかけて「新しい降水量計の開発」と題して学習会を開きました。当日は科学技術庁のフェローとして滞在していたThomas WISINGER氏に、同氏が滞在中開発した積算降水量計と高い捕捉率を有する雨雪コレクターを紹介して頂きました。前者は、不凍液で雪をとかしながら、圧力センサーで水量を連続的に計測するいわゆるトータライザーの現代版で、冬季の降水量観測特に山地など商用電源の得られないところでの観測に威力を発揮することが期待されます。一方、後者は、受水口を特殊な形状にすることによって降水量計の捕捉率を上げようとするもので、雨についてはほぼ100%とあってよいものが得られたことが報告されました。

今回の参加者は21名で、特に円盤のような変わった形をした降水量計について、その発想の動機など、活発な質疑がなされました。

(高見晋一)

下記の要領で第三回雪崩の力学に関する学習会を開催します。皆様お誘い上ご参加下さい。

記

日時：1992年5月29日15:40-17:00

会場：長岡技術科学大学機械建設棟8階会議室

プログラム：(長岡駅 15:00発のバスで間に合います。)

15:40-17:00 学習会

発表者 山田護氏(長岡雪氷防災実験研究所)

なお14:30からは雪崩の力学研究技術部会の全体集会を行っておりますこれにも参加ご希望の方はオブザーバーとしてご参加になれます。

連絡先 〒940-21 長岡市上富岡町長岡技術科学大学 早川典生

日本雪氷学会北信越支部
総会，研究発表会・製品発表検討会

日時：平成3年5月30日（土）

場所：長岡技術科学大学A講義室（別添地図参照）

プログラム

- 研究発表会Ⅰ（10:30～12:00）
座長 村山實（新潟産業大）

*発表時間は，質疑応答を含め
1人15分です。

1. 粉雪雪崩の三次元模擬実験
福嶋祐介，早川典生（長岡技科大），備前亨（秋田県）
2. 雪崩誘発装置ガゼックスの効用について
○上石勲（㈱アルゴス），飯吉章通（㈱東京倶楽部），早川典生（長岡技大），
川田邦夫（富山大）
3. 分布型モデルに基づく雪ダム効果のシミュレーション
○木村憲司，小池俊雄，陸旻皎，早川典生（長岡技大）
4. 降雪量分布のパターン化に関する研究
○小池俊雄，後藤巖（長岡技大），桜井一樹（JR東日本）
5. 冬期の気温と降水量および降雪量
○清水増治郎（長岡雪氷研）
6. 北陸地方における降水量計の冬期捕足率
○大野宏之（北陸農試）
7. 1992寒候期における新潟県上越地方の積雪
○横山宏太郎，菅谷博，大野宏之，小南靖弘，トーマス・ヴィージンガー（北陸農試）
8. 十日町市における降雪・積雪・融雪水中の酸性効果物質（1990～1991冬季）
遠藤八十一（森林総研），鈴木啓助（都立大），和泉薫（新潟大）
- 昼食（12:00～12:45）
- 定期総会（12:45～13:30）
- 研究発表会Ⅱ（13:45～15:45）
座長 杉森正義（福井県雪対策センター）
9. 積雪下の土壌成分について
○小南靖弘（北陸農試）
10. 圧力感知型貯留式降水量計の開発
トーマス・ヴィージンガー，○大野宏之，横山宏太郎，高見晋一（北陸農試）

11. 積雪用密度・含水率計と最近の観測 4 例
○伊藤文雄（福井大・教育）
12. ひずみ式屋根雪荷重測定器の試作
梅村晃由，上村靖司（長岡技科大），佐藤守（新潟三洋電子㈱），
○江藤泰雄（長岡技科大）
13. 集雪冷房システムの経済性試算
上村靖司，○秋山聡，梅村晃由（長岡技科大）
14. 融雪抑制用泡の諸性質の測定その 2
吉野敬，○藤田賢寿，東信彦，梅村晃由（長岡技科大）
15. 流雪溝の流雪能力に関する実験的検討
○福嶋祐介，早川典生，村上正人（長岡技科大）
16. 利雪 実用「パンフと現場」づくり
○樋口利明（十日町市）
- 休憩（15:45～15:55）
- 研究発表会Ⅲ（15:55～17:10）
座長 高見晋一（北陸農試）
17. 路面凍結の推定・予測手法の研究概報その 4
○中尾正義，清水増治郎（長岡雪水研），高橋修平（北見工大）
18. 雪の玉コロについて
納口恭明，小林俊一（長岡雪水研）
19. 雪泥のタッピング圧縮
○小林俊一，和泉薫（新潟大・災害研），江崎泰秀（新潟大・工）
20. 雪泥の一軸圧縮
○小林俊一，和泉薫（新潟大・災害研），丹政孝（新潟大・工）
21. 融雪装置の評価手法について
○杉森正義（福井県雪対策技術センター）
- 製品発表検討会（17:10～17:25）
座長 高見晋一（北陸農試）
22. 高熱伝導アスファルト舗装の開発
矢尾良雄，山田登志彦，小林五太夫，宮本重信，深川俊一，
杉森正義（福井県雪対策技術センター），平田廣一，塚谷秀男（熊谷道路㈱）
- 懇親会（17:45～19:20）

※19:32に技大前発長岡駅行最終バスがあります。

見学会

新潟地区見学会のお知らせ

見学場所 1) 雪ダム調査地
2) 新井スキー場
日 時 平成3年6月19日(金)
集合場所 JR新井駅
集合時間 AM10時15分(汽車の関係)
ここからマイクロバスで行動します。
解散時間 (予定)PM15時頃
個人負担 昼食代として約1000円
(申込により当日昼食を用意します)

尚、当日の天候により次のような変更がありますのでご注意ください。

- 1) 晴天の場合、ガゼックスの地点からヘリコプターで移動しますので乗り物酔いの方はご注意ください。
- 2) 雨天の場合、見学場所の変更あるいは中止があります。

注) 移動に際してバス等を利用しますので、参加者多数の場合は抽選で決定します

申し込み締切日 4年5月30日

申し込み先 下記のいずれかをお願いします。

石 平 (土木研究所新潟試験所: TEL 0255-72-4131)

上 石 (株式会社アルゴス : 0255-72-3448)

案 内

「1992年国際雪氷学シンポジウム」

I G S ナガオカ シンポ 速報

◎本シンポジウムの準備は英国のIGS本部と長岡の実行委員会で着々と進行中。

(1) IGS本部では投稿論文のアブストラクト119件を受理、採用予定論文112件が決定。(2) 編集委員会ではこれを受けて発表予定論文のアブストラクトを全編和訳し機関誌「雪氷」に掲載の予定(3) 実行委員会では一般市民向け講演会の講師をクラーク教授(ブリティッシュコロンビア大学、IGS会長)と大村博士(スイス工科大学)に決定。

◎シンポジウムの事前参加申込期限は6月1日です。奮って申してください。この日以降の参加申込は5,000円加算されます。

案内

雪崩を知る・予知する・予防する・ 長岡国際シンポジウム
- 21世紀のスキーリゾートをめざして -

主催：日本雪氷学会北信越支部

開催日：1992年9月11日（金）・12日（土）

会場：長岡産業交流会館（ハイブ長岡）

大会スケジュール及び講演者・講演題目（予定）

1日目：1992年9月11日（金）

9:00~10:00 開会式 挨拶 梅村晃由（委員長）

基調講演 「雪崩研究と災害防止の展望」

中村 勉（長岡雪氷防災実験研究所）

10:00~10:15 コーヒーブレイク

10:15~12:15

「雪崩発生と積雪の変態」

R.L.ブラウン（アメリカ モンタナ州立大学）

「日本における雪崩発生と積雪の変態」

秋田谷英次（北海道大学低温科学研究所）

13:15~16:40（コーヒーブレイク20分間を含む）

「ガゼックス（ガス砲）の物理的解析と雪崩予知・研究について」

G.ブリューノ（フランス国立農業工学河川森林研究センター）

「本州における雪崩の発生と対策」

川田邦夫（富山大学理学部）

「カナダにおける雪崩コントロール」

D.M.マックラン（カナダ プリティッシュコロンビア大学）

17:45~ 懇親会（ホテル・ニューオータニ長岡）

2日目：9月12日（土）

9:00~12:15（コーヒーブレイク15分間を含む）

「スイスにおける雪崩対策の基礎と応用」

H.グーブラー（スイス連邦立雪・雪崩研究所）

「フランスにおける雪崩管理の基礎」

C.シャルリエ（フランス国立農業工学河川森林研究センター）

「スノーボードスキー場における雪崩管理対策」

L.フィッツジェラルド（アメリカ スノーボードスキー場）

13:30~16:30 パネルディスカッション 「雪崩災害防止の今後の方向」

コーディネーター・早川典生（長岡技術科学大学）

パネリスト・H.グーブラー、C.シャルリエ、L.フィッツジェラルド

・R.デッカー（ユタ大学）、川田邦夫

・阿部 勉（関越ロードメンテナンス㈱）

・新田隆三（農林水産省森林総合研究所）

16:30~ 閉会式

参加申込および問合先：〒940-21 新潟県長岡市上宮岡町1603-1長岡技術科学大学
早川典生 TEL:0258(46)6000 FAX:0258(47)0019